

令和5年5月18日

令和4年度政務活動概要報告書

品川区議会日本維新の会
幹事長 松本ときひろ

品川区議会日本維新の会は2名で組織しています。会派結成自体は令和4年10月ですが、基準日の関係で政務活動費の受領は令和5年1月からとなっております。政務活動の概要について下記の通り報告致します。

【概要報告期間】 令和5年1月1日～令和5年3月31日

【収支】

会派所属議員1名につき月19万円、3か月合計で114万円が交付されました。うち58万9343円を剰余として返金しました。

【政務活動費内訳】

① 調査研究費：36,517円

熊本市の教育について同市教育長等へのヒアリングを行いました。

同市では「自ら考え主体的に行動できる人を育む」を理念としており、校則作りへの児童生徒の参画、小中高生を対象にした産婦人科医や助産師等の専門講師による命の大切さや性被害及び性感染症をテーマにした講演会、登校が難しい児童生徒が周囲と繋がりながら自分のペースで学びを進める機会を作る「フレンドリーオンライン事業」等先進的な取り組みを行っており、当区における教育の質向上に向け議会質疑等において活かしました。

② 研修費：25,165円

令和4年10月2日の品川区議会議員補欠選挙においてせらく真央議員が初当選したところ、地方自治体の財政についての知見を得るために、地方議会総合研究所主催「地方財政予算のポイント」「地方財政改革のための予算」研修に参加しました。今後も更なる研鑽に努め区政の財政上の課題について提言を行って参ります。

③ 広報・活動費：488,975円

区議会での活動を広報するための区政報告レポートの印刷、配布費用として支出しました。国政と異なり地方自治体の課題は報道機関も中々報道しないため、区の課題の広報は区議会議員の役割と考えています。

【主な提案・要望事項】

行政・教育のデジタル利活用、高層マンションの防災、放置自転車・路上喫煙対策、出産一時金、地域猫、空き家対策、コミュニティバス、鳩被害、交通事故対策等